

【研究課題】

IGRA 検査後における結核発病調査、QFT-3G と T spot TB の比較について

【研究機関名及び研究責任者氏名】

責任研究者 公益財団法人結核予防会結核研究所 吉山 崇

共同研究者 名古屋市保健所中保健センター 山田敬一

名古屋市保健所中保健センター 片山 幸

【研究期間】

平成 30 (2018) 年 8 月 13 日から平成 31 (2019) 年 3 月 31 日

【対象となる方】

平成 25 (2013) 年度から平成 28 (2016) 年度に名古屋市保健所中保健センターで接触者検診として IGRA 検査を行った者の対象となった者。

【本研究の目的】

現在、結核患者と接触した者に対する健診（接触者健診）のガイドラインは、従来のツベルクリン反応に代わり、より特異度の高い IGRA(interferon gamma release assay)である T spot TB もしくはクオオンティフェロン®TB ゴールド検査(QFT-GIT)の積極的な使用を推奨していますが、T spot TB 検査後の接触者における結核発病に関する詳細は、日本の情報がありません。今後の結核発病のリスクがある者からの発病を防ぐ方策を構築し、ガイドライン等に反映させる上で、T spot TB の検査の性能を調べることはきわめて重要であると考えられます。

【研究の方法】

IGRA 検査を行った者の情報（性、年齢群(10 歳刻み)、接触状況(期間、同居か職場かなどの接触の場)、IGRA 検査結果、潜在結核感染治療薬と完了状況、経過観察中の発病の有無、経過観察中に発病した場合の喀痰塗抹検査培養検査結果)および、接触者検診の原因となった者の情報(排菌状況、画像所見、接触者検診対象人数と陽性者数)を、研究資料として、結核患者登録票から転記入力します。

【個人情報の保護】

データは連結可能匿名化としますが、生年月日、氏名、住所等個人が特定できるデータは名古屋市保健所から結核研究所へは持ち出しません。結核研究所にて調査情報を整理、解析します。研究結果は関連の学会および論文にて発表する予定です。この場合も、いかなる個人情報も公表されることはありません。

研究への協力を希望されない場合は、いつでも下記に記載されている担当者までお知らせください。研究より除外させていただきます。そのために不利益を被ることはありません。また、この研究につきまして、ご質問やご意見のある方は、**2018 年 9 月 28 日まで**に下記までお問い合わせください。

期日までにご連絡をいただかなかった場合、ご了承ください。ご了承ください。

なお、本研究は名古屋市衛生研究所等疫学倫理審査委員会の承認を得ています

【問い合わせ先】

名古屋市保健所中保健センター 保健予防課 片山 幸

〒460-8447 名古屋市中区栄4丁目1番8号

電話 052-265-2262 FAX 052-265-2259

e-mail: a2514521-10@naka.city.nagoya.lg.jp

結核研究所のホームページにおける「IGRA 検査後における結核発病調査、QFT-3G と T spot TB の比較」についてもご参照ください。

http://www.jata.or.jp/tp_detail.php?id=99